

令和5年度農地保全研究部会 研究集会について

令和5年10月31日

日時 令和5年12月18日（月） 13:00～17:00

（開始、終了時刻は発表件数などで変更有）

場所 オンライン（zoom）開催（事務局は東京農業大学世田谷キャンパス内）

トピック：令和4年度農地保全研究部会研究集会

時刻：2023年12月18日 01:00 PM 大阪、札幌、東京

<https://us02web.zoom.us/j/83408324211?pwd=RXpZRmdoNFZYNFdWWkl6V1lDaDZudz09>

ミーティング ID: 834 0832 4211

パスコード: 342269

主催 農業農村工学会農地保全研究部会（担当支部：関東支部）

事務局 藤川智紀（東京農業大学）

※ 発表時間 大学学部学生 発表8分 質疑5分
一般 発表20分 質疑10分

申し込み・要旨提出 12/8（金）締め切り

事務局（藤川：t3fujika@nodai.ac.jp）まで直接お申し込みください。

発表への注意次項

- ・ 「農地保全」に関する研究、技術の発表であれば、テーマは特に定めません。土壌侵食、農地防災、土壌汚染の他、特殊土壌、耕作放棄、都市農地保全なども含みます。もし、判断の難しい場合には事務局にお問い合わせ下さい。
- ・ 発表者は原則として、学生、院生とします。発表は既発表（学会支部大会含む）のものでも構いません。学部生の発表については、指導教員が質疑応答の後に説明を加えることができるものとします（発表時間の最後の1分）。なお、応募人数が多い場合には発表時間を短くすることや、多すぎる場合はテーマによって発表者を選抜することがありますので予めご了承下さい。
- ・ 発表者には発表前に講演要旨を作成して頂きます。講演要旨は農業農村工学会全国大会の要旨の形式で1ページとします。講演要旨は発表会の前に学会ホームページを通じて参加者に配信すると共に農地保全研究部会誌「農地保全の研究」に掲載します。

- 発表は原則としてパワーポイントまたは pdf によるスライドを用い、発表者が各自のパソコンから画面を共有して発表して下さい。
- 参加者の取りまとめはしないので、参加をご希望される方は所定の zoom アドレスから随時アクセスをして下さい。参加者は部会会員（農業農村工学会会員）でなくとも農地保全研究分野に関わる技術者及び研究者、院生、学生を対象とします。特に院生、学生（低学年含む）については若手技術者の育成の観点からも積極的に参加をしてもらいたいと思いますので、周囲の皆様にも積極的にお声掛け下さい。